

2 管内概要

佐久地域の特性

- ・ 佐久地域は、県の東部、千曲川の最上流に位置し、小諸市と佐久市、南佐久郡6町村、北佐久郡3町の計 11 市町村から構成されています。
- ・ 総面積 1,571.17km²と県総面積の 11.6%を占め、群馬県、埼玉県及び山梨県と県境を接し、甲武信ヶ岳を源とする千曲川が中央を南北に貫流し、上流から南部高原地帯、中央平坦部、浅間山麓高原地帯及び西部の蓼科山麓高原地帯に分けることができます。
- ・ 晴天率が高く、熱帯夜がない冷涼な気候の高原地域であり、国内有数の活火山である浅間山が存在します。
- ・ 佐久地域北部は、新幹線・高速道路が整備され首都圏から良好なアクセス環境です。さらに、中部横断自動車道が山梨県に向けて南佐久郡内まで延伸しています。
- ・ 戦後まもなく始まった農村医療活動等の伝統が根付き、医療関係者や市町村等による保健活動が活発です。また、地域の医療体制が充実しています。
- ・ 伐採期を迎えた優良なカラマツが豊富に存在し、県内有数の産地となっています。また、川上村・南牧村などの南部高原地帯は、冷涼な気候を活かした県内屈指の高原野菜の産地となっています。
- ・ 小諸市・佐久市を中心とする中央平坦部から浅間山麓高原地帯にかけては、農業、商業及び製造業が混在する地帯であり、商業では、北陸新幹線佐久平駅周辺を中心に利便性の高い物流網を活かした多様な企業が立地し、新たな商業エリアを形成しています。
- ・ 製造業では、自動車部品、産業用機械部品、電子部品、プラスチック成形品等の多種多様な製品を製造する企業が立地しています。
- ・ 軽井沢、立科等の観光地に加え、日本三選星名所に選ばれた野辺山等、各地で星空を楽しむことができます。
- ・ 近年、特徴的な教育を行う教育機関が各地で設立されており、教育を目的に移住される方が増えています。

3 管内図

【管内の概況】

